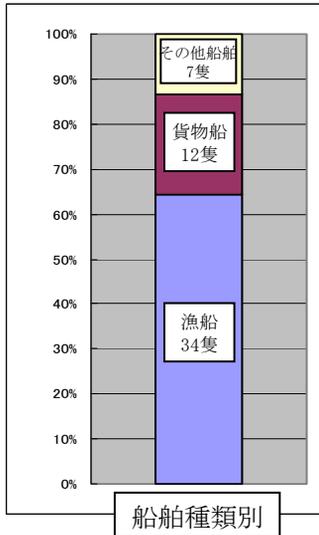


何かと気ぜわしい師走です。
この時期は、ちょっとした油断が生死を分ける大きな海難に繋がります。
細心の注意を払い運航してください。

過去5年（H16～20）間の
12月における北海道
周辺の総海難隻数53隻



転覆は、貨物等の積付状況のほか風や波浪の影響で発生する場合があります。

12月の北海道における平均風速は、北海道西部(積丹半島)で約8m/s※1、北海道東部(釧路方面)で約5m/s※1。最大瞬間風速は、一般に平均風速の1.5倍から3倍にもなり、転覆事故の危険性が高まります。

海難隻数が最も多い漁船の海難種類別でみると、**転覆**が20%と最も多く、以下、火災、運航阻害の順となっています。

また、12月の北海道周辺の海面水温は、**5℃から10℃と低く**※2。海中転落した場合、一般には、一時間以内に救助しても生存確率は50%（通常の衣類着用時）と言われています。

ちなみに、左記53隻の船舶海難に伴う死亡・行方不明者の合計は17人。過去5年間の月毎の合計では**12月が一番多い月**となっています。

※1 海上保安庁が行う船舶気象通報過去3年間の平均値

※2 気象庁ホームページより



(H21 第一幸福丸転覆海難)

AISメッセージによる木材貨物船への荷崩れ防止の注意喚起

「荷崩れ防止対策の徹底」

「気象・海象情報の入手」

「早期避難の励行」

季節風の影響を受け、海上荒天の時期となる冬季に木材流出事故が多数発生しています。

北海道周辺海域を航行する木材貨物船に対して、11月1日から次のとおり荷崩れの注意喚起を促すAISメッセージを提供中です。

AISメッセージの表示例

荒天期の荷崩れに注意してください。

(AISメッセージは次のように全て英文で表示されます。)



<HOKKAIDO> TAKE CARE OF LASHING FOR TIMBERS UNDER SUCH A STORMY SEASON. ALWAYS WATCH OUT !

AIS搭載船舶へのお願い

- (1) AIS装置の電源は常時ONにし、操作方法を確認しておきましょう。
- (2) 自船の位置情報、航海関連情報を正確に入力しましょう。
- (3) AISメッセージの受信時に、受信音が聞こえるようにしましょう。
- (4) 連絡手段確保のためVHF(CH16)を常時聴取しましょう。

お知らせ

7月8日から情報提供中のさんま漁船に関する操業情報については、11月2日情報提供を終了しました。

ご要望、ご意見は第一管区海上保安本部交通部まで
TEL 0134-27-0118 (内線: 2615、2623)